

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立防災安全センター
所管課 防災局 防災危機管理課
指定管理者 一般財団法人山梨県消防協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県消防協会		H18.4.1	～	H21.3.31	3年	36,945,000
一般財団法人 山梨県消防協会 (H25.3.31まで財団法人)		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	61,575,000
一般財団法人 山梨県消防協会		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	71,454,000
一般財団法人 山梨県消防協会		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	57,775,000

2 施設の概要

所在地	中央市今福991
設置年月日	昭和57年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立防災安全センター設置及び管理条例
設置目的	県民に、防災に関する展示・体験等により、防災知識の普及・啓発を行うこと。
主な業務の内容	(1)体験設備、展示品を活用した防災知識の普及啓発に関する業務 (2)地域防災力の向上及び防災用資機材の使用方法等に関する研究 (3)防災に関する文献、写真等の収集、保管及び展示
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 6,179.16㎡ ○建築面積 1,030.76㎡ ○建築延面積 1030.76㎡ ○建物の構造 耐震性鉄筋コンクリート造、平屋建て ○施設の内容 事務室、訓練実習室、視聴覚室、展示・体験フロア、車庫・備蓄庫、機械室
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	14,566,000	14,566,000	14,356,000	14,473,000	14,473,000	
支出合計	13,779,000	14,016,000	12,860,893	14,081,348	13,888,582	
収支差額	787,000	550,000	1,495,107	391,652	584,418	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	36,497人	36,213人	34,347人	10,900人	14,379人	入場者、 事業参加者数の合計
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかとい えば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

防災安全センターを、住民の生命と暮らしを守るための防災知識が習得できる施設として運営し、一人でも多くの県民に防災の知識と体験を提供できるようにすることが目的であるため、利用者数を運営目標としている。

令和3年度の利用実績は、目標値33,400人に対して実績値14,379人(達成率43.1%)と、目標値を大きく下回ったが、令和3年8月中旬から9月中旬まで、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた臨時休館期間があったこと、また、その後も教育機関の見学等各種イベントの中止が相次いだことなど、特殊事情があった。しかし、コロナ禍においても、感染症対策を適切に実施し、クラスター等を発生させることなく、14,379人の利用を実現できたことは評価できる。なお、利用者満足度は80%以上が満足であり、その運営内容も評価できる。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

定期的に現地へ赴き、実施状況を確認したところ、業務は適正に実施されている。

利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少したが、適切な感染症対策が施され、クラスター等を発生させることなく前年比30%以上利用増を実現できたことは評価できる。コロナの影響で来館キャンセルの連絡が来た団体には、出張講座への切り替えを提案するなど機会損失を防ぐ対応をしている点も評価できる。今後、利用者数の増加傾向が見られるため、感染症対策の徹底を前提に、施設の更なる周知を行い、出張講座の訪問先を拡大するよう指示した。

また、切迫性が指摘される南海トラフ地震や富士山噴火などに的確に対応できるよう、これまで以上に防災知識の普及・啓発、利用者サービスの向上、施設等の維持管理に取り組むことが必要である。

なお、定期評価結果について、目標値は概ね達成しており、令和2年度の体験者数に比べ、実績が向上している。引き続き、センターのPR等を通じて、利用者の受入れを積極的に図ってほしい。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

施設内見学(講話)や防災指導車利用時におけるクラスター等の発生を防止するため、検温・消毒・人数制限・換気等、感染症対策が徹底された。

利用者の満足度向上のため、糸魚川大火の被災地の写真や台風災害の写真、避難所の再現模型を展示するなどの工夫を施し、時期に応じ、センター展示品の刷新も図っており、防災知識の普及・啓発にも寄与していると考えられる。

利用者増加に向けての施設周知は、公立小中学校校長会を通じてパンフレットを県内小中学校へ配布しており、今後も出張講座を積極的に実施していくことを計画し、利用者の増加を目指していく。

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立防災安全センター

所管課 防災局 防災危機管理課

指定管理者 一般財団法人山梨県消防協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	入館者数	4,177	4,332	4,042	608	1,981
	出張講座受講者数	14,853	14,317	13,999	5,130	6,253
	防災指導車利用者数	17,467	17,564	16,306	5,162	6,145
	利用者数合計	36,497	36,213	34,347	10,900	14,379
	目標値	40,200	41,100	42,000	33,100	33,400
	実績/目標割合	90.8%	88.1%	81.8%	32.9%	43.1%
	目標値の設定方法	H29・入館者数:4,600人、出張講座:15,800人、防災指導車:19,800人 H30・入館者数:4,700人、出張講座:16,200人、防災指導車:20,200人 R1・入館者数:4,800人、出張講座:16,500人、防災指導車:20,700人 R2・入館者数:3,900人、出張講座:13,500人、防災指導車:15,700人 R3・入館者数:3,900人、出張講座:13,600人、防災指導車:15,900人				
利用率	稼働率等(利用率)	50.0%	46.5%	49.0%	28.0%	22.3%
		50.0%	53.8%	51.0%	32.7%	23.4%
	稼働率等(利用率)の算定方法	上段(防災指導車):稼働日数/利用可能日数 下段(視聴覚室):利用日数/利用可能日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	

3 補修工事等の状況(令和3年度)

(単位:円)

管	センターHPセキュリティ強化等	151,486
管	起震車修理代等	118,250
管	公用車修理代等	57,277
管	フォークリフト修繕費	71,010
管	その他備品等修繕費	181,302

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 入	A 収入額計	14,566,000	14,566,000	14,356,000	14,473,000	14,473,000
	指定管理者委託料	14,566,000	14,566,000	14,356,000	14,473,000	14,473,000
支 出	B 支出額計	13,779,000	14,016,000	12,860,893	14,081,348	13,888,582
	人件費	6,795,000	7,899,000	7,630,257	8,631,823	8,616,043
	修繕費	1,373,000	806,000	528,159	916,137	579,325
	光熱水費	1,618,000	1,918,000	1,976,604	1,446,018	1,546,206
	旅費	3,000	12,000			
	需用費	1,242,000	863,000	652,056	977,854	850,604
	役務費	876,000	784,000	569,925	569,526	564,479
	使賃費	183,000	200,000	38,592	19,140	19,140
	公課費	857,000	850,000	975,100	1,025,850	1,068,100
	外部委託費	832,000	684,000	490,200	495,000	644,685
	清掃業務	421,000	421,000	424,800	429,000	429,000
	消防設備点検等	65,000	65,000	65,400	66,000	66,000
	防草シート敷設	199,000	198,000			
	建築設備等法定点検	147,000				149,685
	外部委託比率	6.0%	4.9%	3.8%	3.5%	4.6%
	県への納付金					
収支差額(A-B)		787,000	550,000	1,495,107	391,652	584,418
一人当たり指定管理者委託料*		399.1	402.2	418.0	1,327.8	1,006.5

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	(1)実施時期: 令和3年4月～令和4年3月 (2)実施方法: 事業参加者・来場者アンケート調査 (3)回答数:57人				
	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	無回答
体験の充実度	88.0%	4.0%			8.0%
展示・説明の解り易さ	77.0%	5.0%			18.0%
利用しての感想	84.0%	5.0%			11.0%
またの来館希望	86.0%	4.0%			10.0%
講話・講座の感想	89.0%	7.0%			4.0%
施設全般の満足度	84.8%	5.0%			10.2%
利用者の 主な意見	<p>【施設・設備】 ①テントを利用した煙体験以外の実践的な体験が必要。 ②展示物について、適時リニューアルが必要。 ③施設の告知が必要。</p> <p>【企画事業】 ・説明員は、利用者の年齢等に配慮しながら丁寧に説明してくれたので、ありがたかった。 ・説明員の説明に受講者への配慮にかける発言が一部あったものの、全体として熱心に説明してくれたので、自助・共助・公助について理解が深まった。</p>				
利用者の意見 への対応	<p>【施設・設備】 ①テントを利用した煙体験の他、教室を利用した体験も実施している。 ②写真パネルの掲載内容を適時更新している。 ③起震車の出張先などでパンフレット配布するなど、引き続き周知に努めている。</p> <p>【企画事業】 ・今後も、専門員が災害知識の習得を行うことで、災害時に役立てる説明に努める。 ・相手の気持ちに配慮した丁寧な利用案内を今後も心掛けるよう、説明者に対して言葉使い等に関する研修を実施。</p>				

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	来館者に快適に見学してもらえるよう、施設及び設備について日常的に点検を実施し、適正に管理している。	管理業務計画書等のおり適正に業務は遂行されている。
運営業務	適切な感染症対策を実施した上で、起震車による出張講座の体験事業をメインに据え、防災意識の普及・啓発に努めている。 また、施設の来館者に対しては、日常から災害に備えた意識づけについて地震、煙、消火体験をしつつ、展示物を活用しながら普及・啓発に努めている。	管理業務計画書等のおり適正に業務は遂行されている。 また、感染症対策も適切に実施されている。
利用状況	新型コロナウイルス感染拡大により施設利用のキャンセルが発生したり、蔓延防止措置に協力するため8月10日から9月11日まで休館したため、利用者数合計の実績値(14,379人)が、目標値(33,400人)には達しなかったものの、適切な感染症対策を実施した上で、防災指導車(起震車)の派遣を行った。コロナの影響でキャンセルを検討する団体には、出張講座への切り替えを提案するなどの工夫を実施。 今後も、感染症対策を徹底しながら、自主事業の充実等により入館者数の増加を図るとともに、防災指導車の活用等により出張講座受講者数の増加を図り、全体の利用者数が増加するよう努めていきたい。	引き続き、予約日程の調整やホームページの内容充実、積極的な働きかけ・周知により、体験事業の実績向上に努められたい。 引き続き、コロナ禍においても利用者ニーズに合わせた工夫を行い、利用者増加に向けた取り組みを積極的に図ってもらいたい。
収支状況	人件費や、光熱水費などの義務的経費の比率が高い中、各支出について点検し、経費の節減に努め対応している。	引き続き、各支出について点検し、適正な事業計画の策定と、より一層の効率的な運営に努めて頂きたい。
自主事業	自主防災組織の構成員、地域住民等を対象として、受講者の特性に応じた防災講座を実施し、災害に備えた普及・啓発に取り組んだ。	受講者の特性に応じた研修を実施することは有効であることから、引き続き研修を継続し、防災意識の普及・啓発を推進して頂きたい。
利用者満足度	アンケート回答者の大半が「満足」・「どちらかといえば満足」してくれたので、成果が出たものと評価する。	利用者の満足度は高いと判断するが、引き続き、利用者の意見収集を行い、多様化するニーズを汲み取り、サービス向上につなげて頂きたい。 また、コロナ禍における利用者ニーズの変化を把握し、出張講座への実施方法の改善や来館者へのサービス向上などに努めて頂きたい。

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
防災体験事業(防災指導車)	<p>防災教育の普及・啓発を図るため、防災指導車の体験者数を評価指標とし、山梨県強靱化アクションプラン内で定めた目標値に対して、コロナ禍の影響を考慮した6,854人を目標値に設定。 PTA協議会や校長会等への宣伝を実施したものの、年間体験者数は6,145人となり、目標値を下回る結果となった。</p>	<p>令和2年度の体験者数に比べ、体験者数は増加傾向にあるため、県内小中学校等に対して防災体験車のチラシ配布や案内をおこなうなど、センターの周知を積極的に行う。</p>
学習・見学事業(来館者)	<p>施設の利用促進を図るため、防災安全センターの来館者数を評価指標とし、山梨県強靱化アクションプラン内で定めた目標値に対して、コロナ禍の影響を考慮した1,722人を目標値に設定。 消防団等の団体に対して施設PRを行い、年間来館者数は1,981人となり、目標値を上回る結果となった。</p>	<p>新型コロナ感染症の影響により、令和2年度の来館者数は大幅に減少したが、令和3年度は来館者数が回復しつつある。 感染症対策を徹底しながら、引き続きセンターのPR等を通じて、来館者の受入れを積極的に図ってほしい。</p>
移動防災教育講座(出張講座)	<p>防災教育の普及・啓発を図るため、移動防災教育講座の参加者数を評価指標とし、山梨県強靱化アクションプラン内で定めた目標値に対して、コロナ禍の影響を考慮した5,880人を目標値に設定。 PTA協議会や校長会等への宣伝を実施し、年間体験者数は6,253人となり、目標値を上回る結果となった。</p>	<p>新型コロナの影響でキャンセルを検討していた団体には出張講座に切り替えを提案するなど、利用者ニーズに合った対応を実施している。 引き続き、出張講座のPR等を通じて、参加者の受入れを積極的に図ってほしい。</p>

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

